# 未来を担う子供たちのために

～アンコンシャス・バイアスに気付くことの大切さ～



文部科学省

# 『保育者に気付いてほしいこと』

男女共同参画社会の実現に向けて、**「性別におけるアンコンシャス・バイアス」**※1への気付きや**「固定的な性別役割分担意識」**※2の解消が求められています。

幼少期から**「性別におけるアンコンシャス・バイアス」**や**「性別役割分担意識」**が生まれないように、幼児教育施設の保育者は、「男の子らしく」「女の子らしく」といった声掛けをしないように気を付けるなど、意識して子供に関わることがとても重要です。

この冊子では、保育においてよく見かけるシーンを題材に、気を付けていただきたい点をまとめたものです。７ページには、**アンコンシャス・バイアスに気付くためのチェックリスト**もつけました。ぜひ職場のみなさんと、アンコンシャス・バイアスについて話し合うきっかけにしてください。

※1 「性別におけるアンコンシャス・バイアス」とは、「男はこうあるべき」「普通、女はこうです」といった、性別における無意識の偏見や思い込みのことを指します。これまでの経験などから自然と生み出されるもので、完全に払拭することが難しいと言われています。
（出典：内閣府男女共同参画局「性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消等に向けた普及啓発用動画～ PART2 ～」等をもとに作成）

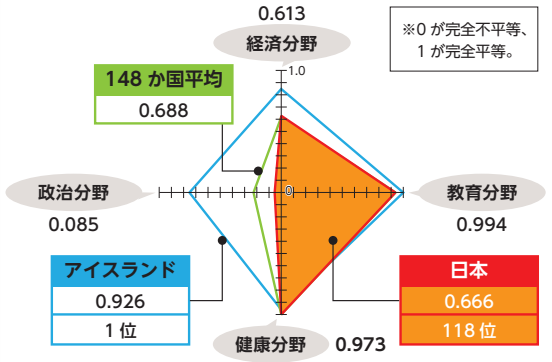
※2 「固定的な性別役割分担意識」とは、「受付や接客は女性の方が向いている」「組織のリーダーは男性の方が向いている」といったように、職場や家庭などにおける役割分担を性別により判断する考え方です。
（出典：内閣府男女共同参画局「性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査研究」等をもとに作成）

## コラム

2025年6月、世界経済フォーラム（WEF）は、男女格差の現状を各国の統計をもとに評価した「Global Gender※3 Gap Report」（グローバル・ジェンダーギャップ・レポート、世界男女格差報告書）を発表しました。日本の順位は、148か国中118位。「教育」と「健康」の値は世界トップクラスですが、「政治」と「経済」の値が低く、企業等において女性の管理職層への登用が進まない状況や女性議員の少なさなど、日本の男女共同参画の現状を示しています。

※3 ジェンダーとは、生物学的な性別とは異なり、社会や文化によって作られる「男らしさ」「女らしさ」といった役割、態度、行動、考え方のことです。
（出典：内閣府男女共同参画局「用語解説」を参考に作成）

**各分野におけるジェンダーギャップ指数**




（出典：「Global Gender Gap Report 2025」（P227）をもとに作成）
https://reports.weforum.org/docs/WEF_GGGR_2025.pdf

テーマ

ケースサンプル

# 01. 色や服装についての性別におけるアンコンシャス・バイアス















## 解説

本ケースは、色や服装についての性別におけるアンコンシャス・バイアスが見られる例です。女児は、ピンクや赤などの色、洋服のデザインは花柄が好き、髪が長い、男児は青や黒などの色、デザインは恐竜や車、電車が好きといった固定観念が、本ケースにおける「男の子でも」という発言につながっている可能性があり、アンコンシャス・バイアスが生じています。
どのような言葉掛け、行動をとったらよいか、考えてみましょう。

保育者が職場で子供たちに
接する場面を漫画で表現しています。
発言に注目してチェックしましょう。

テーマ

ケースサンプル

# 02. 好きな遊びについての性別におけるアンコンシャス・バイアス



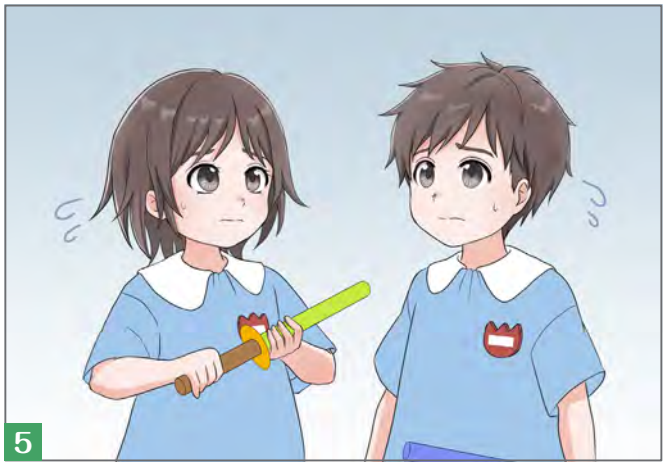













## 解説

本ケースは、好きな遊びについての性別におけるアンコンシャス・バイアスが見られる例です。男児は活発で、たくましく、強くなければいけないと、外遊びやスポーツをすることがよいと考えたり、女児は、おしとやかで、おとなしく、控えめで、ままごと、お絵かき、折り紙、編み物など、室内遊びを好むとする固定観念が、本ケースにおける「女の子なんだから」「女の子らしく」という発言につながっている可能性があり、アンコンシャス・バイアスが生じています。

どのような言葉掛け、行動をとったらよいか、考えてみましょう。

テーマ

ケースサンプル

# 03. 感情表現についての性別におけるアンコンシャス・バイアス




## 解説

本ケースは、感情表現についての性別におけるアンコンシャス・バイアスが見られる例です。男児は強くなければならない、泣くという感情表現は弱さを表わしているという固定観念や、女児は弱いので泣いてしまうという固定観念が、本ケースにおける「男の子なんだから」「女の子なのに」という発言につながっている可能性があり、アンコンシャス・バイアスが生じています。どのような言葉掛け、行動をとったらよいか、考えてみましょう。

テーマ

ケースサンプル

# 04. 子供の好きなこと、苦手な対象についての性別におけるアンコンシャス・バイアス
















## 解説

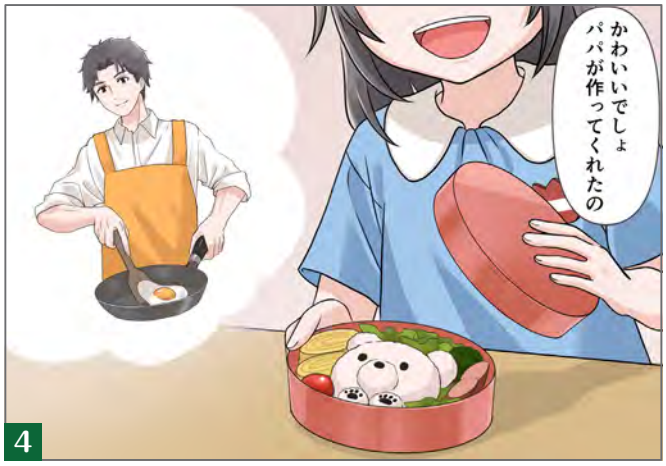
本ケースは、子供の好きなこと、苦手な対象についての性別におけるアンコンシャス・バイアスが見られる例です。男児は昆虫や昆虫採集が好き、女児は苦手という固定観念が、本ケースにおける「男の子なのに虫が怖いの／女の子でも虫をつかまえられる」という発言につながっている可能性があり、アンコンシャス・バイアスが生じています。

どのような言葉掛け、行動をとったらよいか、考えてみましょう。

テーマ

ケースサンプル

# 05. 性別役割分担意識についての性別におけるアンコンシャス・バイアス
















## 解説

本ケースは、役割分担についての性別におけるアンコンシャス・バイアスが見られる例です。「家事・育児は母親の役割」という固定観念や、男性は外で働き、収入を得て、女性は家庭を守るという固定観念が、本ケースにおける「女の子はテーブルをふいてあげてね」「お父さんなのに…」という発言につながっている可能性があり、アンコンシャス・バイアスが生じています。
どのような言葉掛け、行動をとったらよいか、考えてみましょう。

## 振り返り

自分自身の無意識の思い込みに気付くことが大切です。
日頃の保育を振り返り、次の項目を確認してみましょう。職場でも話し合ってみましょう。

### チェックリスト

| | |
|---|---|
| 振り返り | ☐ 保育者自身の無意識の思い込みについて振り返っているか |
| 声掛け・態度 | ☐「女の子らしく」「男の子らしく」という表現を使っていないか<br>☐ 服装や髪型で「男の子」「女の子」を決めつけていないか<br>☐ 活動や遊びを性別で分けていないか<br>☐「男の子だから泣かない」「女の子だから優しく」といった思い込みで指導していないか |
| 活動・役割分担 | ☐ 当番やリーダーを男女それぞれに任せているか<br>☐ そうじや後片付けなど生活の中での役割に男女の偏りはないか<br>☐ 体を動かす活動など、特定の活動への参加に男女の偏りはないか |
| 教材等 | ☐ 絵本などにはさまざまな役割の男女が描かれているか<br>☐ 多様な教材を用意しているか<br>☐ 保育室の掲示物や言葉が、男女の固定的なイメージを助長していないか |

（出典：「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）チェックシート」、内閣府男女共同参画局　を参考に作成）
https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/pdf/seibetsu_r03/03.pdf?utm_source=chatgpt.com

## グループワーク

**ワーク1**
・各ケースの**保育者の声掛けや行動**について気付いたことを書いてみましょう

**ワーク2**
・自分だったら**どんな発言をするか**、ワークシートにセリフを書いてみましょう

**ワーク3**
・**グループ**で話し合ってみましょう
・**共通の課題**を共有しましょう

ケースごとの場面で**保育者役**、**幼児役**に分かれて、
**ロールプレイ**をしてみることもお勧めします。
ほかにもどんなケースがあるか考えてみましょう。

# ワークシート

自分だったらどんな発言をするか、
セリフを書いてみましょう。

## Case 1 ケース1



## Case 2 ケース2




## Case 3 ケース3



# ワークシート

自分だったらどんな発言をするか、
セリフを書いてみましょう。

## ケース Case 4



## ケース Case 5



**文部科学省**
総合教育政策局　男女共同参画共生社会学習・安全課
〒100-8959　東京都千代田区霞が関 3-2-2
TEL：03-5253-4111　http://www.mext.go.jp/